

玉東中学校便り

【共に学び、共に感動を】

第十一号 平成二十八年一月十三日

新年明けましておめでとうございます。今年も玉東中の一三八名の生徒の健やかな成長を願って、職員一丸となって教育活動に邁進していきますのでよろしく願います。新年を迎えるに当たり一月八日の全校集会で「目標と理由」について話をしました。

「目標」には「その理由」があるものですが、「その理由」には「終わりのあるもの」と「終わりのないもの」の二つに分けられると思います。

大きく言えば「終わりのあるもの」は『自分のために何をするか』ですが「終わりのないもの」は『人のために何ができるか』ではないでしょうか？ どちらが「いい」とか「悪い」とかではありません。しかし、皆さんはこれから成長していくにつれて『自分のため』だけの目標から『人のため』に目標を掲げることが出来る人になっていくって欲しいと思います。なぜなら、私たちはこの地域社会の中で多くの人に助けられながら生活しています。だからこそ、将来は、皆さんが地域のために自分の力を発揮し、社会を支えていくって欲しいと思うからです。平成二十八年のスタートに当たり、皆さんが「はっきりした理由を持って目標を立てること」そして「その目標に向けて努力ができること」を期待しています。

更なる玉東中の発展を

一月八日の全校集会に先立ち、新生徒会役員の見学式を行いました。議長団二名と各委員会の委員長七名(左に紹介)に一人ずつ、生徒会長から委嘱状が手渡されました。

昨年までは、十の委員会有りでしたが、生徒数や職員数の減少、委員会活動の効率化等を考え、学級委員と放送を合わせて総務、文化と図書を合わせて学芸、生活と安全を合わせて生活・安全としました。

冬休み最終日の一月七日には、新しい生徒会三役・議長団・各委員会の委員長と副委員長が一堂に集まり、終日「リーダー研修」を行って年間活動計画等を作成しました。今まで先輩達が築いてきた伝統は継承し、新たな取組を積極的に取り入れながら、玉東中を更に発展させていくって欲しいと思います。



委嘱状を手にする議長団と各委員長

沖縄の歴史と文化、平和の尊さと学んだ修学旅行

十二月十七日から二泊三日で二年生が沖縄へ修学旅行に行きました。熊本に初霜が降りたというニュースを聞きながら、昼間の気温が二十度前後の沖縄では、中間服で過ごすことができました。

一日目はひめゆりの塔・平和の礎・平和祈念資料館を見学し、平和集会を行い、当時軍人や住民が避難した糸数壕に入りました。現地ではか学べないこれらの体験は、戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ貴重な経験でした。

二日目は嘉手納基地・美ら海水族館を見学し、国際通りで買い物をしました。三日目は首里城公園を見学し、琉球ガラス村で体験活動をしました。天候に恵まれ事故や病気等もなく、楽しい思い出がたくさんできました。

青い海、真っ白な砂浜 これぞ沖縄！



ホテルのお米を食べ尽くしました



ひめゆりの証言者島袋さんの講話